

公表:令和5年7月18日

事業所名 POP-POP

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動スペースを2つに分け、活動に合わせて利用している。	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		理学療法士や保育士などの専門職員を積極的に配置している。	利用人数に応じて必要な人員確保に努めていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		活動部屋を色で分けたり、動線を意識して配置している。	改善箇所について、会議等を通し情報収集をし改善に努めていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			日常の清掃に加え、遊具などを収納しやすい工夫をしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員全体でPDCAに関する会議を月に1度実施している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			評価表の情報を基にした業務改善会議を実施していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		アンケートの集計後公開へと進めていく。	HPの完成に伴い情報開示を適切に行っていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		定期的な第三者の来訪に伴い相談を行っている。	必要に応じて第三者機関と連携していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			OJT研修をはじめ、療育に携わる知識についても共有している。	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			利用開始に伴いアンケート、アセスメントの機会を設け実施している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたものに加え、利用しやすいように変更している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援会議時に児童に合った活動内容について検討している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝会を行っておりその時点での役割を共有している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			朝会で前日での活動の振り返りを行っている。緊急連絡等は情報を共有に務めている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			医療的ケアが必要な児童は現在利用していない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○			医療的ケアが必要な児童は現在利用していない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			児童が通っている保育園や幼稚園との連携は未だとることができていない。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			直接小学校とのやり取りがないが、必要に応じて状況や配慮事項などまとめ情報共有ができるような資料を作成している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			開所時から地域の事業所と連携を取れるよう努めている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			現状は機会を設けられていない。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○			ZOOMなどの会議に参加することはできている。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			ペアトレの研修を行い、実践で取り組みを始めている。	
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			同じ地域に居住している保護者間で連携をしている様子がある	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			今後、地域に向けた企画を運営していく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○			該当する児童がいない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 5年 7月 18日

事業所名 POP—POP 保護者等数(児童数) 9 回収数 8 割合 88.9 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	0	0	0	・静と動のスペースが分かれている。 ・整理されているので集中しやすいと感じている。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	1	・導線がしっかりしていて子どもが扱いやすい配置になっていると思う	生活空間が保護者様にも伝わるように、おたよりやHPを活用し情報を発信していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	0	面白そうな遊びが提案され、その中でも手指、考える力など育つように工夫されている	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	0	0	4		地域の機関と連携を取りつつ実現可能な行事等の企画を行っていく。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	0		
保護者 への 説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	8	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	0	0	1	通い始めて間もないので	参加しやすいようにプログラムを複数回行う。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	8	0	0	0	毎回細かく活動に対しての様子やお友達との関り等、本人の姿を知らせられる	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	0	1	5	通い始めて間もなく都合がつかずいけなかったことはある。	参加しやすいように行事を複数回行う。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	0	0	1	子に合った活動内容で工夫してくれ、また子どもがやりたいと興味を持てる活動を熱心に取り入れてくれている。	迅速な対応や情報開示を必要に応じて適切に行っていく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0	毎回必ず活動内容と本人の様子をこまかく伝えてくれる。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	0	0	0	LINEで受け取れるため、いつでも確認出来て便利。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	0	0	0		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1	0	2		マニュアルや訓練が伝わるようにHPやお便りを活用していく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	4		訓練を実施したことが伝わるようにHPやお便りを活用していく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7	0	0	1	先生・友達・活動のどれも楽しみにしている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0		

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。